



みんなのひろば

楽しい学校

人を笑顔にできる仕事がしたい

瀬野 大翔さん（訓小5年 実郷）

クラスでは、誕生日を祝う係を担当していて、みんなで誕生日を迎える仲間のお祝いを企画しています。

好きな授業は国語で、漢字の練習が楽しいです。11月12日に行われた学芸会の劇で演じる役の練習をがんばりました。

将来の夢は、ユーチューバーやタレントなど有名になって多くの人に元気と勇気を与えることができる仕事をする事です。

人いきいき

1玉に生産者の思いを込めて

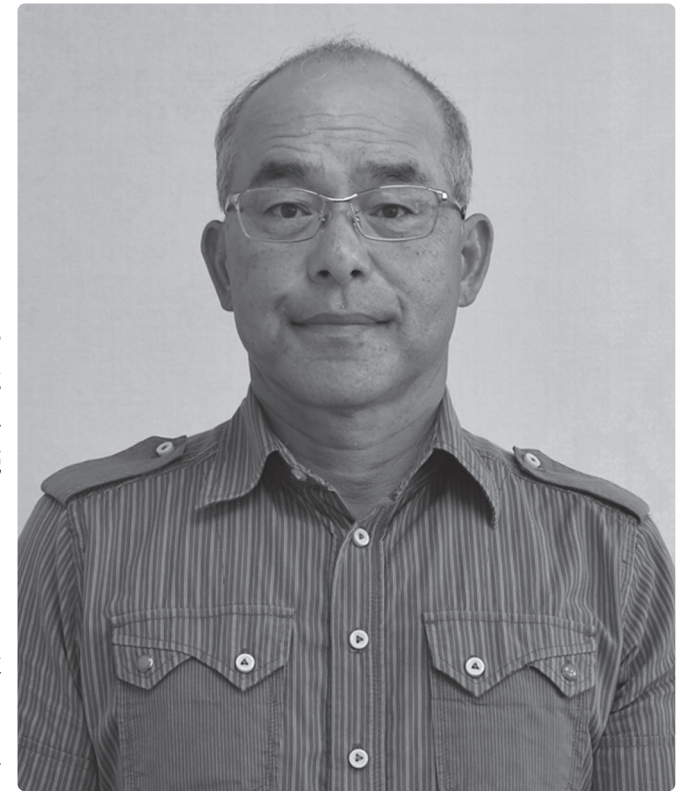
林 幸雄さん（西富 59歳）

訓子府町メロン振興会は昭和48年の設立から、今年で50周年を迎えます。同振興会の11代目会長である林さんは、「地元の人たちに愛されているくんねっぷメロンを、これからも生産し続けたい」と抱負を話していました。

「18戸の農家で設立したメロン振興会は、ピーク時の平成11年、12年に119戸の会員がいましたが、現在は半数以下の44戸となっています。会員の高齢化や後継者不足などが、会員減少の要因として挙げられます。さらにメロンは手作業のうえ、温度管理を中心に手間が掛かることも、生産者の減少につながっていると考えられます」

「現在、町や農協による必要経費の助成、農業試験場や普及センターによる生産技術支援など、生産者は関係機関と連携しながら、くんねっぷメロンの品質向上と維持に向けて努力を重ねています。その他、メロン振興会では農協職員や普及員を講師に招き、年2回、品質管理技術の学習会を開催して、農業技術のレベルを高めるために努力しています。この積み重ねによって、地域で愛される『くんねっぷメロン』を生産し続けてこれたと思っています。『ふるさと納税』の返礼品にも使われていることを誇りに思い、その思いに応え続けていきたいです」

「11月30日には『50周年記念式典』を行います。その他、記念誌の発刊も予定しており、これから本格的に作業を進めていきます。私自身も4代目の生産農家として、振興会のさらなる発展をめざし、関係機関と連携して今まで以上に高品質のメロンを消費者に届け続けたいですね」



みんなのひろば

短歌 訓子府短歌会

- 「ふるさと」の山に向ひて 啄木の
法民村は母の郷里
東幸町 中島 玲子
- 最果ての駅に降り立つ寂しさか
浪淘沙とて啄木は詠む
東幸町 吉野 良華
- 啄木の足跡尋ぬ吟行会
短歌に漂ふ美しき景色よ
旭町 瀬谷 隆夫
- 秋晴れの幣舞橋の四季の像
眩しきながら下より見上ぐ
日出 山内スミエ
- 小六の修学旅行学友と読み
今日歌友と詠む啄木の歌碑
西富 山本 祐一
- 四季の像幣舞橋の乙女らは
行き交ふ人の心奪わる
清住 太田 豊
- 歌詠みて軋む心を慰むか
鉤路に残る啄木の歌
西幸町 乃里子
- 啄木の詩心育てし法民の
小学校に作詩の校歌
大谷 昆野 範雄

— 表紙から —

学芸会がんばったよ！

10月23日に行われた居武士小学校の学芸会の写真です。この写真をプレゼントしますので、ご希望の方は12月23日(金)までに、役場総務課窓口へお越しください。



地域おこし協力隊だより (畠山 真季)

町公民館で11月13日に行われた「つながる秋マルシェ」に行ってきました。たくさんのお店と大勢の来場者で、会場はすごい盛り上がりでした。私もいろいろ買ったり、食べたりしてとても楽しかったです。

今回、「つながる秋マルシェ」の開催を10月25日にFMあばしりで宣伝しましたが、皆さん聞いていただけましたか。

町の魅力や行事、施設からのお知らせを発信しているので、毎月第4火曜日15時からぜひ聞いてくださるとうれしいです。

「つながる秋マルシェ」で声を掛けてくださった皆さん、本当にありがとうございました。

